



目黒本町福祉工房・生活介護事業部では、宿泊研修の代替行事として、2022年12月22日に品川プリンスホテル・メインタワー15階・トパーズ宴会場において、ちょっと贅沢にランチを楽しみました



② 人材の採用に向けた取組の強化

明けておめでとうございます。旧年中は社会福祉法人いたるセンターに多大なるご支援ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。年頭に当たり、令和4年度の事業進捗状況についてご報告申し上げます。

(1) 人材の採用・育成・定着に向けた取組の強化

① 人材の育成・定着に向けた取組の強化

職員への処遇改善を図るとともに、専門性を向上させる各種研修を実施します。また、虐待防止・権利擁護の意識をさらに高め、第三者機関によるメンタルヘルス対策も進めます。

▼ 職員の処遇改善では、現場の要となるグループリーダーおよび統括リーダーの最低本給をアップするとともに、サービス管理責任者手当を新設し、中堅層の処遇改善を図りました。研修については、各事業部の事業計画内容の全体共有、東京都障害者虐待防止・権利擁護研修の伝達研修を行い、法人および所属事業所の事業方針の理解を高め、また虐待防止についての法改正や強度行動障害について学ぶ機会を作りました。メンタルヘルス対策としては、全事業部を対象とした職員カウンセリングを実施中です。

(2) 人材の採用に向けた取組の強化

各事業所の人員配置状況を精査し、より質の高いサービス支援体制を再整備するため、適材適所の人材を広く募り、関係機関と連携して積極的に登用します。

▼ 今年度の新卒採用内定者は8名で、例年の採用水準に達しております。また、離職者27名に対し、採用者55名を獲得しました。人員の配置状況は徐々に改善しつつありますが、さらなる積極登用を継続してまいります。

(2) 働きやすく安全安心な職場環境の再整備

各職階間・各事業所間・職員間のコミュニケーション不足を解消するため、自己申告制度等を活用して、風通しの良い法人・事業所を構築し、利用者支援の質を向上させます。

▼ 今年度の自己申告制度の結果は、自己申告対象者167名、面談希望者20名でした。20名については全員面談を行い、その要望を確認しました。この結果を検討・研究し、職員カウンセリングの結果も合わせ、より良い職場環境の整備等に活かしてまいります。

(3) 中長期事業計画の策定

法人の内部環境・外部環境の分析を行い、中長期的な事業計画を策定するとともに、コロナ感染症対策を含めたBCP(事業継続計画)に基づく研修・

(4) 共同生活援助(グループホーム)施設の高齢化対策

訓練も実行します。

▼ 法人の内部環境・外部環境の分析は進展していますが、特に人材関連の課題に注力しているため、具体的な計画立案には至っておりません。またBCPについては、各事業部の計画書は完成しましたが、新型コロナウイルスの影響で各種訓練実施が滞っている状況です。

(5) 利用者の地域包括支援を充実させる医療事業への挑戦

法人の地域包括ケア構想の一環として、医療ドメインの事業強化を図り、在宅医療の提供により地域還元および利用者還元に貢献します。

▼ 杉並区阿佐谷南に、診療所「いたるクリニック」を開設いたしました。梅澤謙一院長の下、地域における在宅医療の拡大に努めてまいります。

目次 contents

01 社会福祉法人いたるセンター 令和4年度 事業進捗報告 谷山勝崇理事長

02 事業部からの情報発信・事業所通信

03 \* 阿佐谷福祉工房 \* あげぼの作業所 \* 包括ケアセンター・グループホーム \* 目黒本町福祉工房 \* パン工房ブク \* ピヨピヨおうちん \* イタル成城 \* クローバー・マルコ \* サポートウイズ \* すまいる高井戸 \* SDGs推進室

04 人材開発室・室長就任: 特別インタビュー 令和4年度 第3回全体職員研修 イタル成城・生活介護事業部のウェブサイト「plain label」オープン!

いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨でありました。

年会費 1口5千円(何口でも可)  
郵便振り込み 00110712892  
口座 339217346 事務局 山本まで  
問 339217346

「支援・介護・看護・保育の質を上げられる人材を、どのように育成し、定着させるかが課題」

人材開発室 室長 阿久津庄司

人材開発室・室長就任 特別インタビュー



まず、簡単にプロフィールをお伺いします。

昭和60年4月にいたるセンターに入職しました。当時のいたるの職員はわずか4名で、私は同年9月に杉並区から委託を受ける予定になっていた緊急一時保護事業のために職員を補充するというで採用していただきました。職員総勢5名でスタートし、長く阿佐谷生活園(現:阿佐谷福祉工房)で勤務し、その後、あげぼの作業所、目黒本町福祉工房、イタル成城と日中活動系の事業所を渡り歩いてきました。

豊富な支援経験・施設長経験をお持ちの阿久津さんが、なぜ人材開発室の長になられたのでしょうか。

人材開発室は、法人本部の組織改編で新たに創設されました。「CS(利用者満足度)とES(職員満足度)向上の実現、とりわけCSの向上のために、利用者支援の質の向上、職員のキャリアアップとチーム力向上への取り組みのサポートが役割となっていますが、それに対して今までの経験を活かしてほしいということだと思います。

人材開発室長となられた阿久津さんの考えるいたるセンターが求める人材とは、どんな人材でしょうか。

かつて、世の中に障害者を支援する社会資源が十分でなかった頃、いたるセンターは周囲から「困った時のいたる」などと称え(?)られていた時代がありました。「求め」があれば、出来ることは何でも支援する。今法人の方針に「誰一人取り残さない」地域包括ケアの推進と謳っているように、これはいたるの「スピリット」だと思っています。そのことを踏まえて「ご利用者

様の喜びに満ちた生活実現のため、常にサービスの質の向上に努め、提供できる職員」が理想です。

そうした人材を育成するために、人材開発室では、どのようなことを進めていくのでしょうか。

今まで、法人は全体職員研修や階層別研修等を通じて、各事業所は日々の業務を通してOJTを通して人材育成に努めてきましたし、人事考課制度(Do-Capシート)も育成の一端を担ってきました。これらの、ある種独立した取り組みを、「人材育成」を軸に「体系化」し推進していくことが必要だと考えています。人材育成の主体は「各事業所」です。人材開発室は各事業所と日常的に連携を取り、巡回などで状況の確認を行い、必要な時にタイムリーにサポートしていきたいと思っています。

最後に、職員を含むいたる通信の読者にメッセージをお願いします。

谷山勝崇理事長は「福祉の基本は人」という原点に立ち返り、人材の採用・育成・定着に注力し、「やりがい」「仲間」「対価」の3つの軸の内2つ以上ある法人を目指すことを掲げています。社会資源の乏しかった時代に「困った時のいたる」と評価され、求める人に手を差し伸べてきたいたるセンターは、今や保育、障害、高齢、医療、相談と多岐にわたるサービスを提供する法人になりました。

そんな中で、各方面からの「求め」に質の高いサービスでお応えし、ご利用者様を「笑顔」にできるような法人を目指したいと思いますので、共に手を取り合って協働していきましょう。

ピックアップいたる

令和4年度第3回全体職員研修、11月12日に開催。

東京都障害者虐待防止・権利擁護研修を中心に、身体拘束・行動制限の廃止と支援の質の向上について学びました。

令和4年11月12日(土)、令和4年度第3回職員研修を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、今回もZOOMによるリモート研修となりましたが、170名を超える常勤職員が参加。メイン講義の『東京都障害者虐待防止・権利擁護研修(伝達研修)』では、障害者虐待防止法で新たに改正された「身体拘束・行動制限の廃止」の具体例を徹底するとともに、被虐待者になりやすい強度行動障害の状態にある方の支援について学びました。

まず、身体拘束を行う場合の3要件として、切迫性・非代替性・一時性があり、その上で厳格な手続きが必要なことを確認。続いて、強度行動障害の状態にある方の支援には、その障害特性への合理的配慮の視点と、適切な行動を教える機会を活かし、周囲が誤った対応を繰り返さないことが重要であることを再確認しました。

身体拘束や行動制限が虐待であることを再認識

被虐待者になりやすい強度行動障害も再学習

いたる広報委員

発行責任者=谷山 勝崇  
社会福祉法人いたるセンター  
〒167-0032  
東京都杉並区天沼1-15-18  
TEL: 03-3392-7346  
FAX: 03-3391-8039  
Eメール: info@itarucenter.com  
HP: http://www.itarucenter.com/  
発行日/2023年1月15日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。

いたる広報委員まで。

イタル成城・生活介護事業部のアート活動を紹介するウェブサイト “plain label” アートグッズが購入できるウェブショップオープン!

OPEN

あなたのお暮らしに アートを添えよう

飾らない(PLAIN) ありのままのアート表現。多様な人々が交流し相互に影響を受けながら、それぞれの思いをつなげるイタル成城・生活介護事業部の日々のアート活動を紹介します。これまでの作品や企画を展覧できるとともに、アート作品をモチーフにしたグッズ販売や、シルクスクリーンやデジタルプリントを施したオリジナルグッズ注文も承ります。ぜひご覧ください。(右のQRコードを読み取ってください)



# 事業部からの情報発信・事業所通信



## サービス向上のための研修を開催

サポートウイズ マネジャー 塚田 充昭

謹んで新年のお喜びを申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。本年もサポートウイズ一同、より一層尽力してまいりますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて2023年のサポートウイズは、昨年訪問診療の診療所を開設し、既存の事業展開の上に医療的サービスを付加することによる、さらなる利用者支援の向上と地域貢献への寄与を目指してまいります。そして今年度は、いたるセンターのみならず社会的課題ともいえる、障害をお持ちの方の高齢化に対応するための支援力向上を目標として、昨年より定期的に開催している、移動支援の登録ガイドヘルパーを対象とした、訪問看護部門の看護師による医療面での研修を継続して開催いたします。サポートウイズは、これからも地域の皆様方ご利用者様、ご家族様に選ばれ、求められるサービスの提供を目指して邁進いたします。



訪問看護師によるガイドヘルパーのための研修を実施

## おかげさまで10周年！

すまいる高井戸 センター長 春山 陽子

あけましておめでとうございます。おかげさまで、今年4月に、すまいる高井戸は10周年を迎えます。この10年間に相談件数が約12,000件と6倍になり、事業も、相談事業、地域連携・ネットワーク事業、自立支援事業、代読・代筆事業、災害時個別避難支援プラン作成の他に、精神障害者の地域生活を支援する事業や緊急時コーディネーター業務などが加わりました。

これからも、居場所として、また初期相談の場として、ご自分の人生を歩んでもらえるように、支援をしていきたいと思っております。今年もよろしく申し上げます。



## 三井不動産リアルティ株式会社様へ訪問

SDGs推進室 統括リーダー 渡邊 菜都

当事業部は、顧客企業の三井不動産リアルティ株式会社様へ訪問し、障害のある社員（以下メンバー）へサポートを行っております。

昨年の10月11日にワークサポート杉並が主催する「杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議」にて、「企業が求める人物像や職場での合理的配慮」に関して三井不動産リアルティ株式会社様の発表がございました。その発表の前半部分はメンバー3名が担当し、業務内容の説明や働くために必要なこと、頑張ってきたことを発表しました。メンバーたちが自信を持って話す姿を見て、普段の取り組みを発表することは自信や成長に繋がる貴重な機会だと改めて感じました。

## みなさまのご協力でイベントを開催

ピョピョおうちえん マネジャー 大上 茂樹

あけましておめでとうございます。昨年もコロナ禍の中ではありましたが、大人の心配をよそに子どもたちは毎日元気いっぱいにご遊んでいます。ハロウィンでは、いたるセンターの施設や近所のお店などを訪ね、お菓子をいただいてきました。また、クリスマス会ではいたるセンターの有志の方にご協力をいただくなど、多くの方に見守られていることを実感しました。お正月を迎え、新年の掲示物に囲まれる中で餅つきを行うなど、今年も元気な活動が始まっています。8年目を迎える保育園も、子どもたちのように日々成長して行きたいと思っています。



## 活躍する外国人職員をご紹介 ~part2~

イタル成城 施設長 五木田 義之

本号では前号に引き続き、海外から実習生として渡航し、介護の特定技能資格を持ってパンブルで活躍している契約職員2名を紹介いたします。冬の張り詰めた空気を裂くように黙々と自転車漕ぎ職場に向かう後ろ姿は、母国で待つ家族の想いを背負った覚悟が感じられるようで、凛とした気持ちになります。

interview ①出身地 ②お国自慢 ③日本の良いところ ④将来の夢



ハイさん | パンブル勤務

①ベトナム：ナムディン市②フォーと盆栽③新しい言葉と文化を学び生きがいを感じる④故郷で老人ホームのような施設をつくりたい



レシルさん | パンブル・通所兼務

①フィリピン：ダバオ市②ドリアン③ルールを守る国民だから安全で安心④お金持ちになって娘と日本に住むこと

~これからも益々のご活躍をお祈り申し上げます。~

## 季節ごとの催しの充実とサービス向上を目指して

クローバー・マルコ 統括リーダー 加藤 大貴

新年あけましておめでとうございます。コロナの影響がまだ残りますが、今年度もよろしくお祈りいたします。

さてクローバーでは、昨年12月より加藤が統括リーダーに就任することとなりました。それによって2022年12月1日現在では、職員2名で運営していくこととなりますが、ご利用者様のご要望にできる限りお応えしていくとともに、「七夕」や「クリスマス」といった季節ごとの催しを行っていき、サービスの向上に努めていきたいと考えています。また職員に対しても、やりがいをもって仕事ができるような職場環境作りを目指していきます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## スポーツレクに参加しました

目黒本町福祉工房 施設長 高木 知子

就労継続支援B型は、一年をかけて製作した干支土鈴の納品も終わり、分室は新規にオープンを購入しました。シルク印刷も注文生産に加え、職員ユニフォームの試作に取り組んでおります。土地柄、新規作業のお話をいただくことも多く、1件1件丁寧に対応し、ご利用者様の工賃・スキルアップに繋がりにくいものは積極的に取り入れるようにしています。

生活介護のレジン製品はクオリティも高く、アンブレラメーカーの注文も相次いでおり、毎日製作に動いております。毎日アクティブにウォーキングや缶回しに出かけるグループや年4回発行の情報誌Mixαは、文才のある感性豊かな編集長が自らも潜入取材に取り組み発行しております。

未だコロナ禍ではありますが、1~2月にかけて、代替宿泊研修で都内のホテル等でのランチ、レクを楽しむ計画もあります。多彩なご利用者様の日々の生活に寄り添いながら過ごしております。



(左上から時計回りに) アンブレラメーカー・干支土鈴・情報誌「Mixα」・シルク印刷製品

## 唯一無二の店舗を目指して

パン工房プクプク 統括リーダー 池田 史暢

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍に加え、原材料・燃料等の高騰によりパンの値上げも含め非常に厳しい1年となりました。その影響からか保育園からの発注の減少が見られております。一方、今年は他区からの依頼が増える可能性があります。いずれにしても安定した品質・安全面で絶対的な品質を目指し取り組んでいきたいと思っております。店舗は苦戦を強いられておりますが、店舗しかない魅力を強調していきたいと考えています。外販は若干コロナ前の状態に戻りましたが、引き続き阿佐ヶ谷高架下にある「にぎやかな風」を今まで以上に活用しながら地域に根差していくことを約束したいと思います。

卯年にちなみ当事業所が大きく飛躍するようスタッフ一同邁進していきますので、引き続きご支援ご協力賜りますよう深くお願い申し上げます。



## 送迎車が新しくなりました

阿佐谷福祉工房 施設長 齋藤 直人

阿佐谷福祉工場の送迎に使用していたステップワゴンが老朽化したため、新しくすることになり、10月29日に新車のキャラバンが納車されました。送迎仕様のキャラバンですので、乗車用のステップや手すりが装備されています。またステップワゴンから座席が2席増え、ドライブレコーダや走行中の事故を防止する緊急ブレーキシステムなど、安全確保する装備も完備され、ご利用者様をより安全に送迎できるようになりました。便利な機能が搭載されていますが、何より事故を起こさない安全運転を心がけることが第一ですので、今後も気を引き締めて送迎業務に取り組んでいきたいと思っております。



日本財団の助成を受け、送迎車を新調しました

## スポーツレクに参加しました

あけぼの作業所 施設長 池田 佳津男

10月8日（土）は「あけぼのまつり」の開催予定日でしたが、コロナ禍のため中止とさせていただき、代替行事としてスポーツレクレーションを実施しました。杉並区スポーツ振興財団様にご協力、ご指導いただき、「ポングダンス」「モルック」「テガーボール」を楽しみました。体を激しく動かす場面も多く、コロナ禍で溜まったストレスを発散して頂けたと思います。ポングダンスに挑戦するのは初めてのご利用者様がほとんどでしたが、インストラクターの動きに合わせてとても上手に踊っていました。昼食は焼きそばをご用意させていただくとともに、キッチンカーでのカレー販売やパンの販売も行いました。ご利用者様の楽しそうな表情を見ることができ、スポーツレクレーションは大成功でした。



初めてのポングダンスを楽しむご利用者様たち

## より良い職場環境の構築を目指します！

包括ケアセンター・グループホーム事業部

ゼネラルマネジャー 白瀧 則男

あけましておめでとうございます。コロナ騒ぎも落ち着かず4年目に突入しました。また、物価の高騰により生活も苦しくなるなど厳しい年を迎えました。さて、グループホーム事業部では新年より短期入所クローバーから仙石統括リーダー（以下TL）を迎え、村島TLはあけぼの作業所へと異動となりました。仙石TLはワルツ事業所の管理者として配置、ポレロ事業所は坂梨TLが管理者とサービス管理責任者を兼務いたします。ほかの事業所は変更なく、ジャズ事業所は堺グループリーダー（以下GL）、ビートル事業所は中村正人GL、アネモネ事業所は中山GLが管理者・サービス管理責任者として担当いたします。グループホーム事業部としてより良い職場環境づくりを目指してまいりますので、今年もよろしくお祈りいたします。